

IVIモデラー2018 IVIM対応版

操作マニュアル(基本編)

2018年11月

IVI IVMODELER 2018年度版のダウンロード × +

← → ↻ <https://iv-i.org/ivimodeler/> ☆ 🔍 煩之 ⋮

IVIモデラー 2018年度版のダウンロード

[IVIモデラー3.4.20 インストーラ\(2018/11/10\)](#)

ベーシック版は、あらかじめ以下のファイルをダウンロードしてください。上記インストーラーでIVIモデラーをインストールした上で、モデラー起動後に「業務アプリを開く」ボタンでダウンロードファイルをクリックすると起動します。

[ベーシック版: 16チャート \(CSV版\)](#)

バージョンを1.1にアップしました (2018/12/13)。

データ統合ツールをリリースしました。これは、別々に作成したチャートをを統合するためのツールです。WGのメンバーで別々に作成したチャートを1つのファイルに統合することができます。マニュアルは[こちら](#)

[IVIモデラー2018 データ統合ツール](#) (2018/12/30)。

サンプルデータは、[こちら](#)。ダウンロードしCSVファイルを
¥ProgramData¥ApstoWeb¥Contexer¥IVIM-16CHAフォルダにコピーしてください。

【ステップ1】

<https://iv-i.org/ivimodeler/>を表示し、インストーラーをダウンロードします。

【ステップ2】

起動アプリとして、ベーシック版: 16チャート (CSV版)をダウンロードします。

【ステップ3】

インストーラーを実行し、指示に従います。

【ステップ4】

デスクトップの表示されたIVIモデラーのアイコンをクリックして起動します。

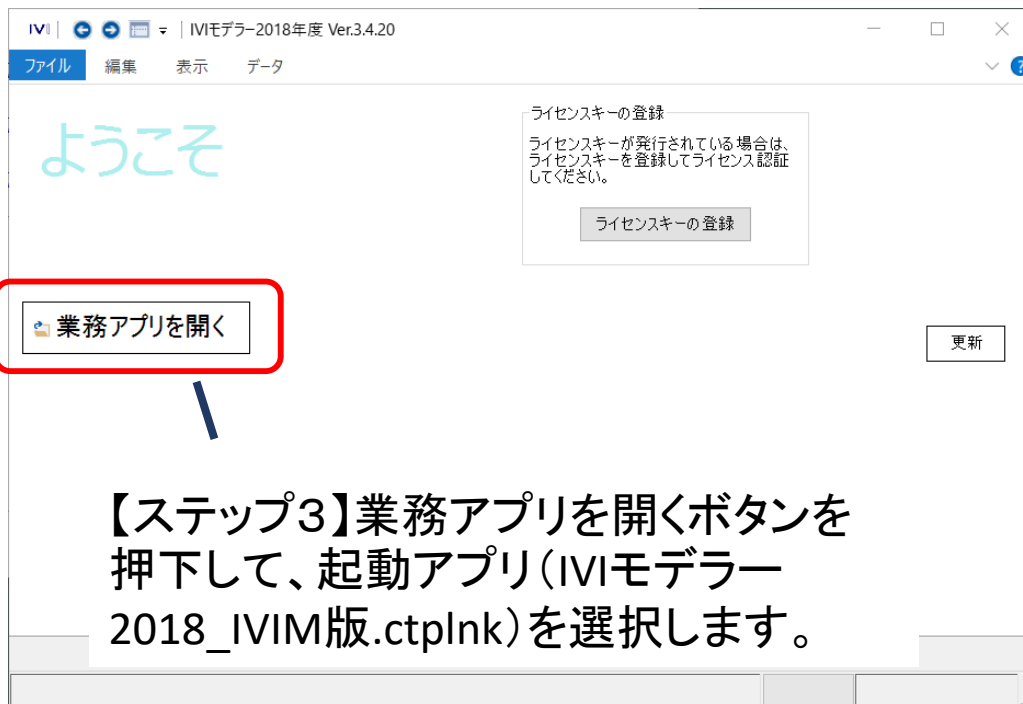


インストーラーの実行

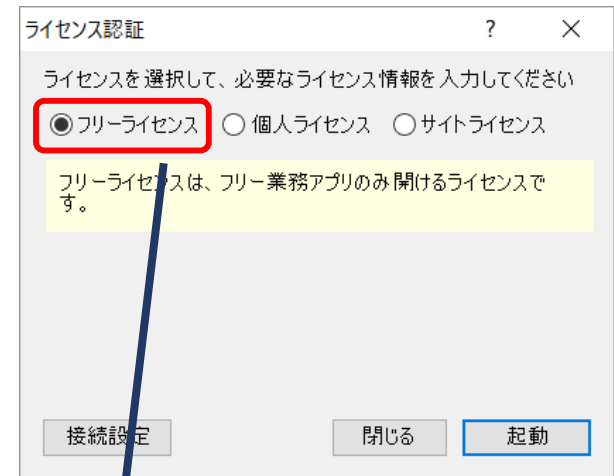




【ステップ1】IVIモデラーの起動は、デスクトップ上にあるアイコンをダブルクリックします。



【ステップ3】業務アプリを開くボタンを押下して、起動アプリ (IVIモデラー 2018_IVIM版.ctplnk) を選択します。

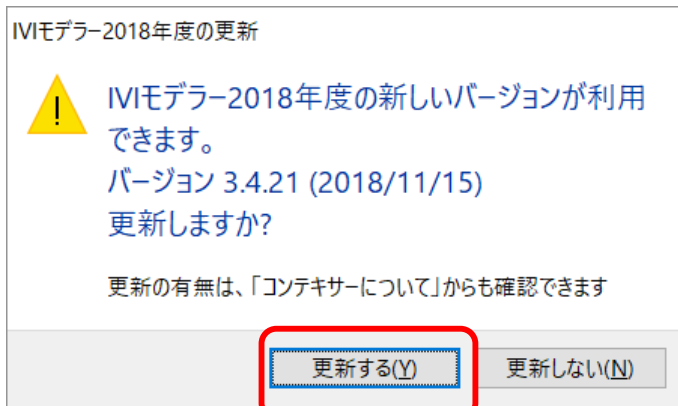


【ステップ2】最初に起動すると、ライセンス認証画面が表示されます。フリーライセンスを選択します。もし、すでにサイトのアカウントをもっている場合は、サイトライセンスでの実行も可能です。



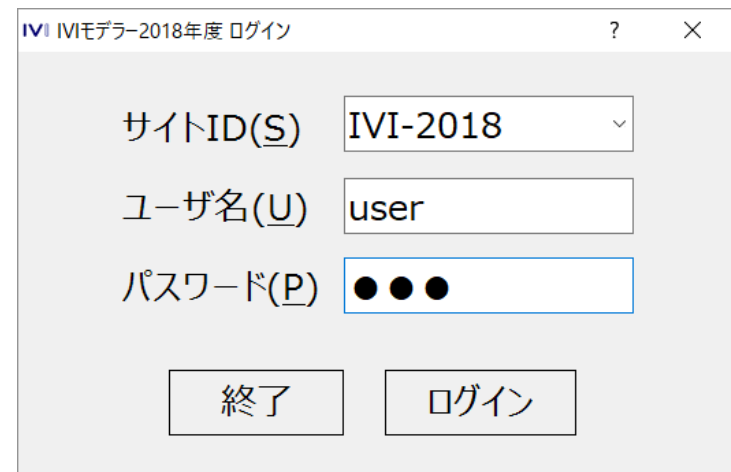
起動方法として、起動アプリの設定ファイルをIVIモデラーのアイコン上にドラッグ&ドロップすることも可能です。設定ファイルをダブルクリックすると、IVIモデラーではなくコンテキサーが起動する場合がありますので、ダブルクリックはしないでください。

IVIモデラー-2018_IVIM版.ctplnk

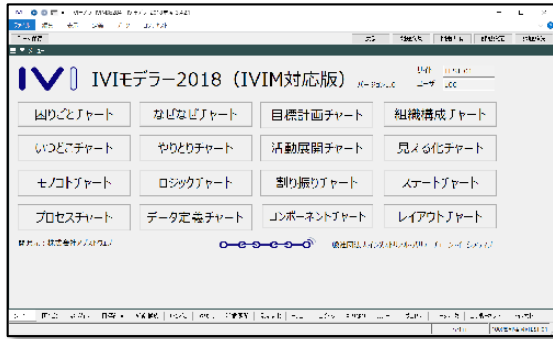


機能追加などで、モジュールが更新された場合には、自動更新を行うメッセージが表示されます。更新するを選択してください。

サイトライセンスを持っている場合には以下のログイン画面が表示されます。あらかじめ通知されたユーザ名とパスワードを入力して起動してください。



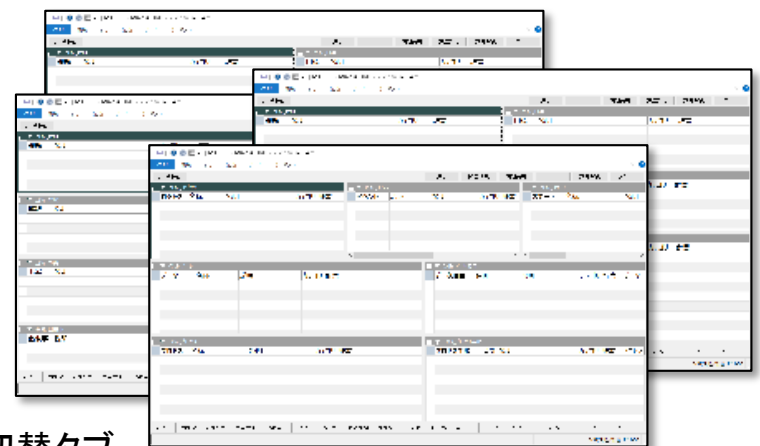
画面の全体構成



シート切替ボタン



メニューボタン



メインメニュー

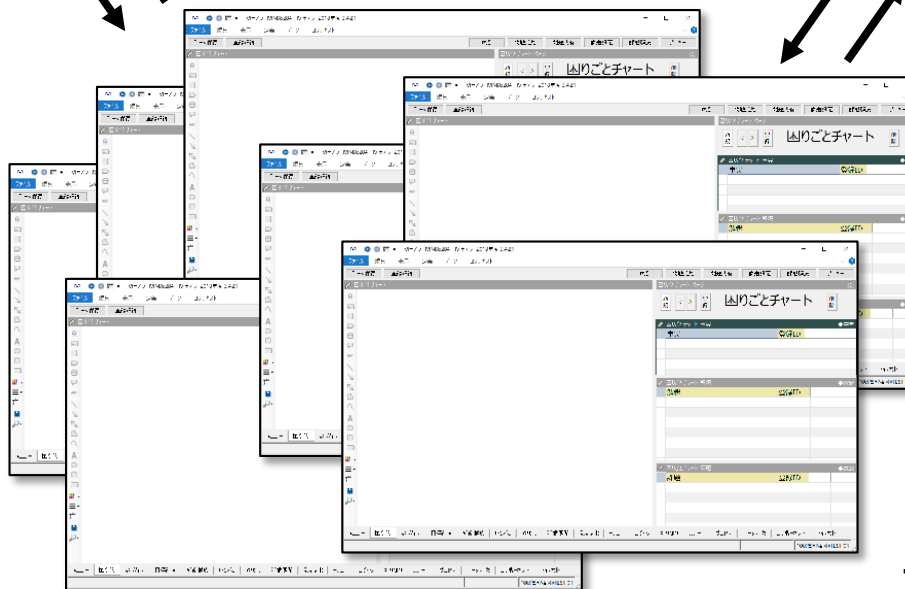
メニューボタン

シート切替タブ

メニューボタン
またはタブ

シート切替
ボタン

登録データ
編集シート



シート切替タブ

16種類の
チャート



画面の内部構成

The screenshot shows the IVI software interface with the following components labeled:

- シート切替ボタン** (Sheet Switching Button): Located at the top right of the window.
- タイトル表示域** (Title Display Area): Located at the top right of the window.
- 登録取得ボタン** (Registration Acquisition Button): Located in the top left toolbar.
- データ保存ボタン** (Data Save Button): Located in the top left toolbar.
- 新規ボタン** (New Button): Located in the top left toolbar.
- ページ移動ボタン** (Page Navigation Buttons): Located in the top left toolbar.
- 登録ボタン** (Registration Button): Located in the top right toolbar.
- 削除ボタン** (Delete Button): Located in the top right toolbar.
- チャート表示域** (Chart Display Area): The main central area of the application.
- 図形描画ツール** (Diagram Drawing Tools): Located in the left sidebar.
- データ入力域** (Data Input Area): A table area for data entry, containing the following data:

事実	登録ID
困りごとチャート_事実	
困りごとチャート_解釈	
困りごとチャート_課題	
- シート切替タブ** (Sheet Switching Tab): Located at the bottom of the window.
- エラーメッセージ表示域** (Error Message Display Area): Located at the bottom right of the window.



基本的な操作

【ステップ1】新規ボタンを押下します。新規ボタンを押下せずにデータパネルに文字を入力すると、エラーメッセージが表示されます。

新規ボタンでページが追加されます。現在のページはページカウンタで確認できます。

戻る 問題発見 問題共有 課題設定 課題解決 メニュー

困りごととチャート_ページ [1/1]

新規 < > 登録 困りごととチャート 削除

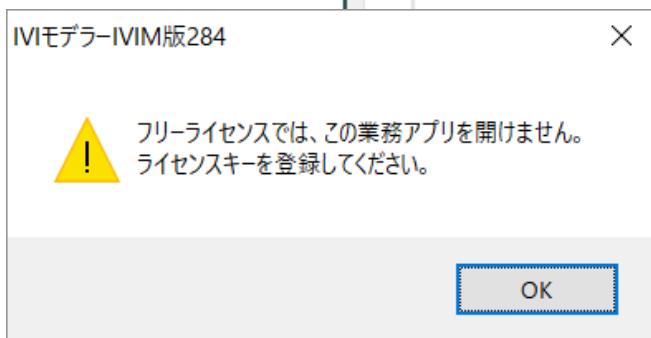
事実..

困りごととチャート_事実 ◆事実

事実	登録ID		
事実..			

入力した内容がチャートに反映されます。

【ステップ2】テキスト入力域に定義内容をキーボード入力します。基本的に、チャート表示領域にあるテキストは、すべてデータ入力領域にある各オブジェクトの入力パネルで行います。



IVIモデラー-2018年度



行を挿入する前に「困りごとチャート_ページ」パネルで行を選択してください。

OK

データ書出し



コンテキスト[困りごとチャート_csv]は、読み込まれていないため、新しい内容で上書き保存されます。よろしいですか？

C:\Users\yasu\Desktop\test\困りごとチャート.csv

書き出しする(Y)

キャンセル(N)

データ書き出し



データ書き出しに失敗しました。

OK

稼働率が低下した

戻る 問題発見 問題共有 課題設定 課題解決 メニュー

困りごととチャート_ページ [1/1]

新規 < > 登録 削除

困りごととチャート_事実

事実	登録ID
稼働率が低下した	10001

【ステップ1】データ入力域で内容を変更すると、チャート表示域でその内容が反映されます。

【ステップ2】登録ボタンを押下すると、登録IDが付与されます。これは、登録データとしてオブジェクトが登録されたことを意味します。

【ステップ3】問題発見ボタンを押して登録されたデータの内容を確認します。

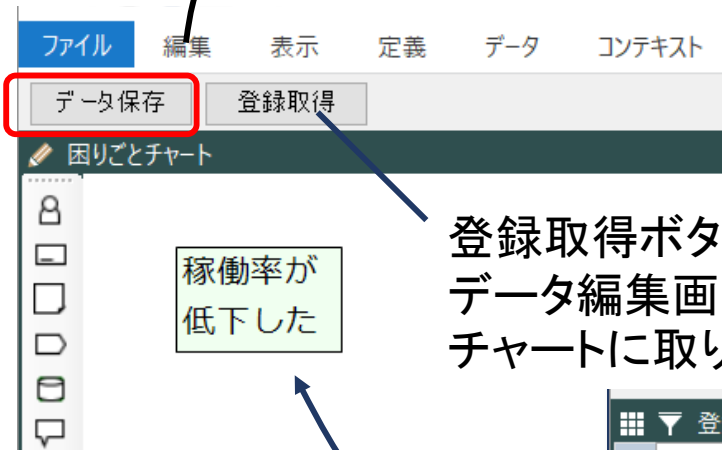
登録_課題	課題	説明
登録_解釈 <th>解釈</th> <th>説明</th>	解釈	説明
登録_事実 <th>事実</th> <th>説明</th>	事実	説明
	10001	稼働率が低下した



基本的な操作

データ保存を押下すると、その時点の図形データ、登録データなどが一式すべて保存されます。なお、データの読み込みは起動時に自動で行われます。

- 登録_課題.csv
- 登録_活動.csv
- 登録_活動手順.csv
- 登録_業務.csv
- 登録_事実.csv
- 登録_出来事.csv



登録取得ボタンを押下すると、登録データ編集画面で変更した内容をチャートに取り込むことができます。

登録_事実			
事実	説明	カテゴリ	辞書
10001	稼働率が低下した		

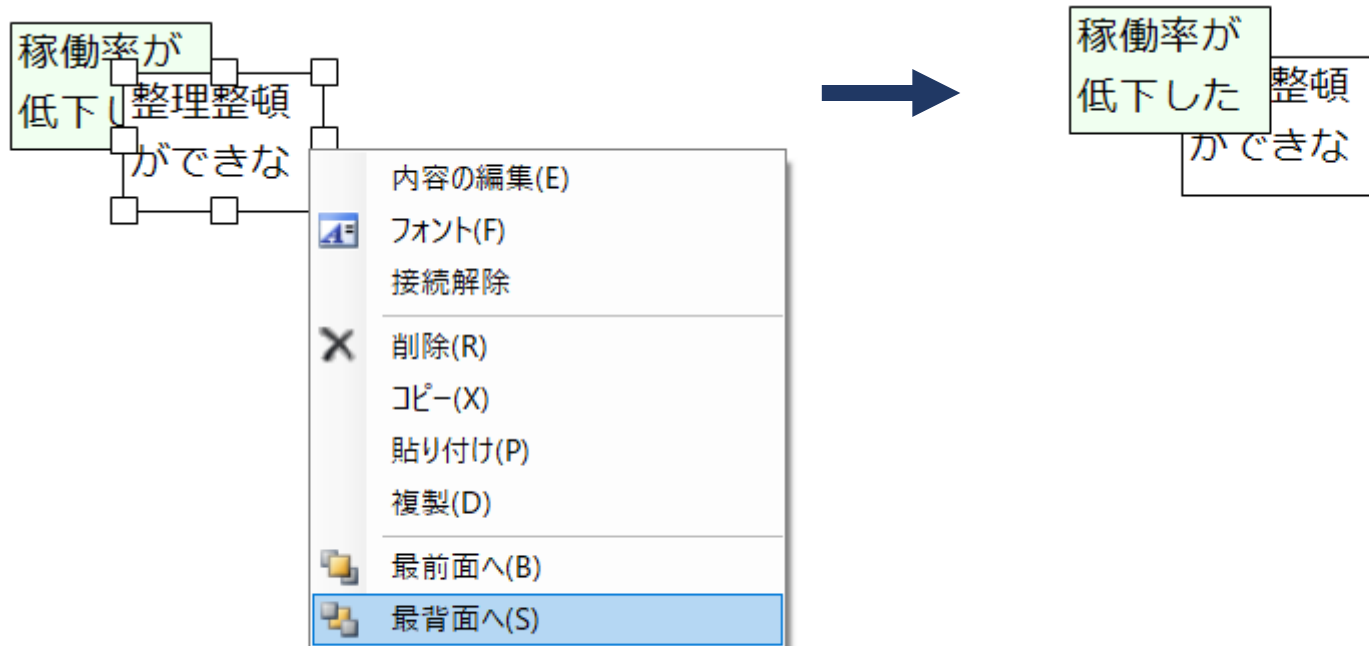
インストール直後は、CSVデータが存在しないためエラーが表示されますが、データ保存を一度行うと、以降はメッセージは表示されなくなります。

ファイルが存在しません。ファイル名:C:\Users\yasu\Documents\IVI_IVIM_IVIM対応版\困りごととチャート.csv



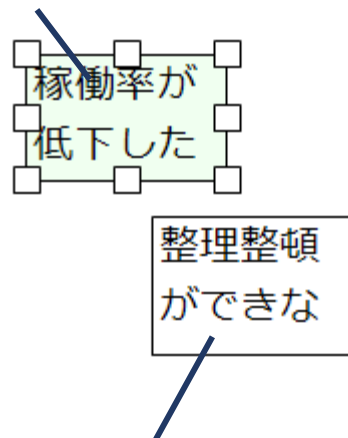
図形の前後関係を変更するには・・・

【ステップ1】図形が他の図形の背後に隠れて見えない場合には、該当図形をマウスで右クリックします。



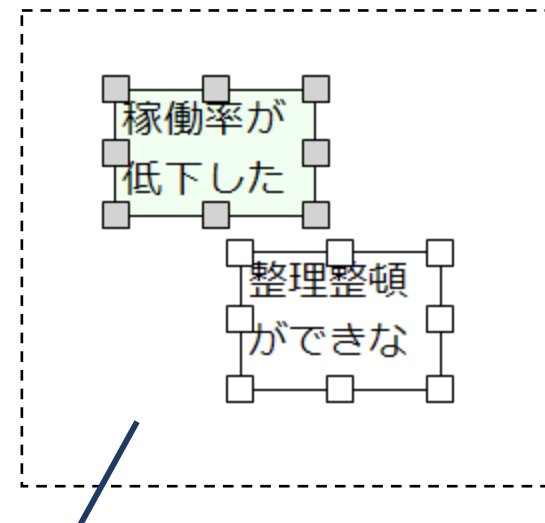
複数の図形を選択するには・・・

【ステップ1】ひとつめの図形を選択します。



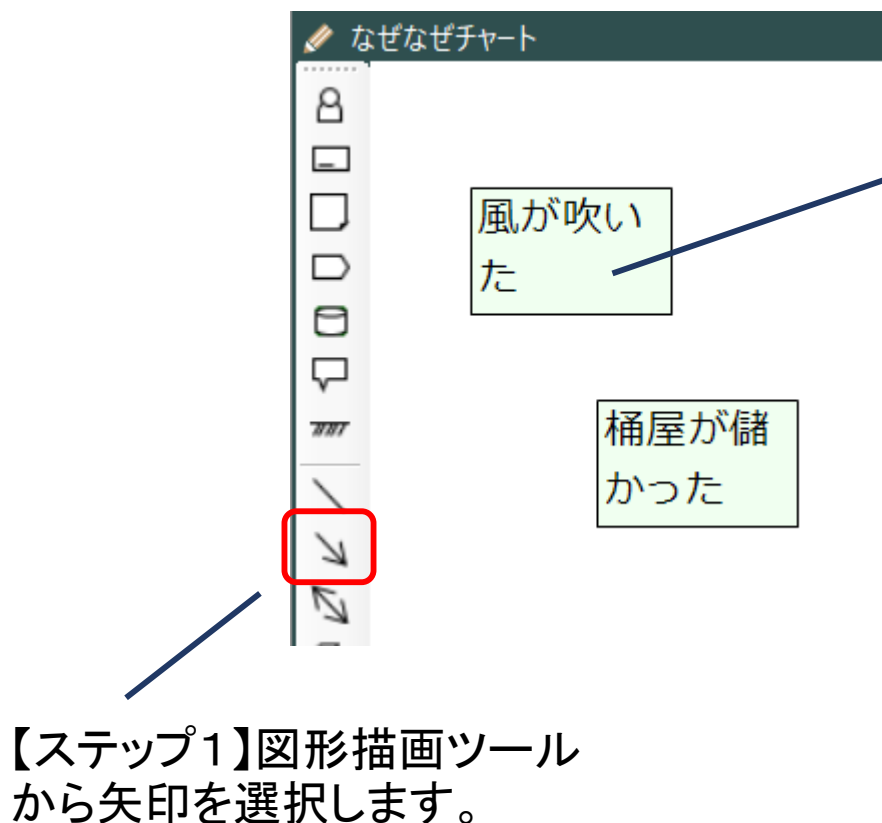
【ステップ2】2つめの図形をコントロールキーを押下しながら選択します。選択された図形をグループから除外するのも同じ操作となります。

複数図形を選択した場合には、移動や削除等のオペレーションはそれらすべてが対象となります。

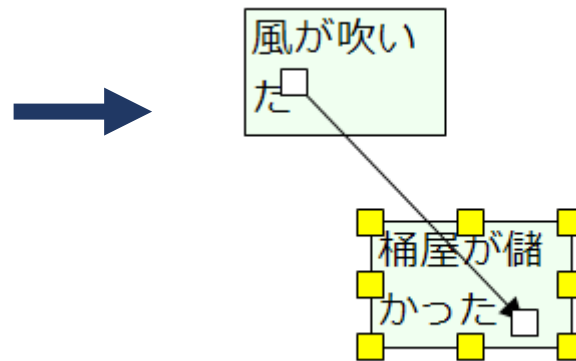


マウスを押下しながら2点で囲むことで、その領域内にある図形をすべて選択することもできます。

2つの図形を線や矢印で接続するには・・・

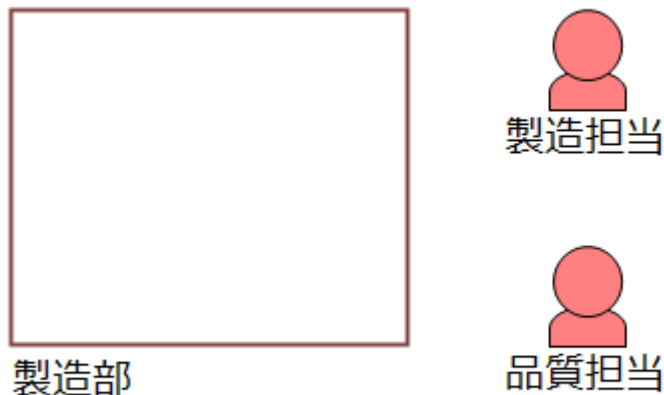


【ステップ2】矢印の始点となる図形を選択します。対象図形の端点8か所が黄色で強調されます。



図形の中に他の図形を含めるには・・・

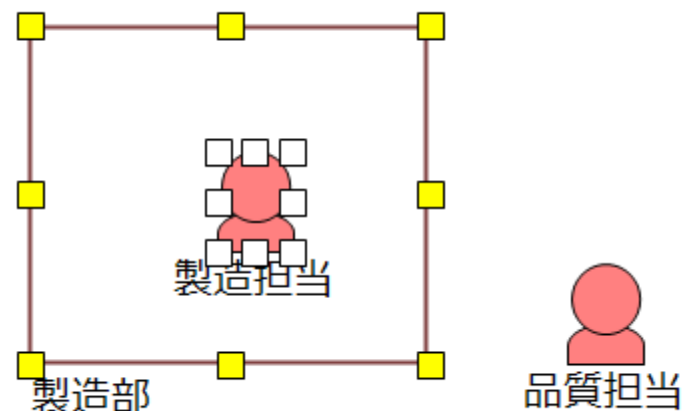
【ステップ1】図形を内部に含めることができるオブジェクトは限られています。



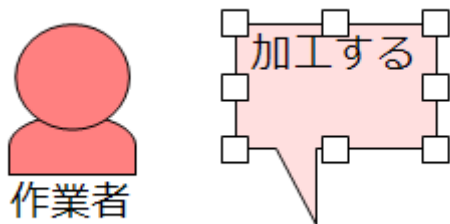
【ステップ2】内部に配置する図形を選択し四角形の内部にマウスで移動します。

【ステップ3】外側の矩形の端点8か所が黄色く強調表示されます。この状態でマウスを話すと対象図形が外側の矩形の図形と関係づけられます。

関係づけられた以降は、外側の図形とともに内部の図形も移動します。外側の図形を削除した場合も同時に削除されます。

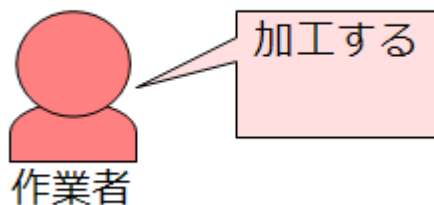


吹き出し図形を元となる図形と接続するには・・・

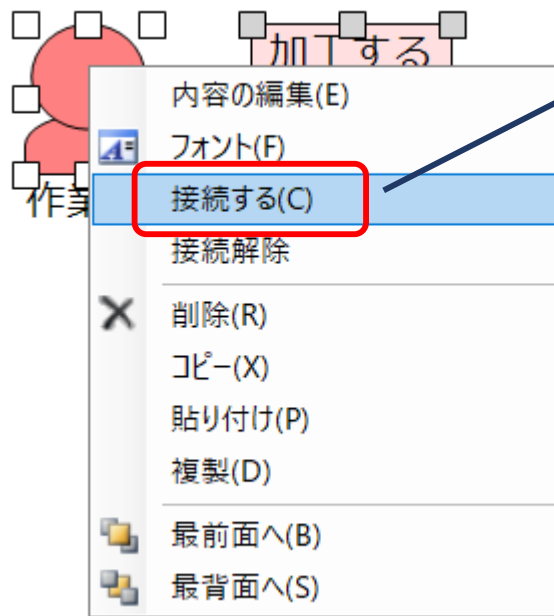


【ステップ1】吹き出し図形を選択します。

接続を解除するには、吹き出し図形のほうを右クリックで選択し、メニューから「接続解除」を選択します。

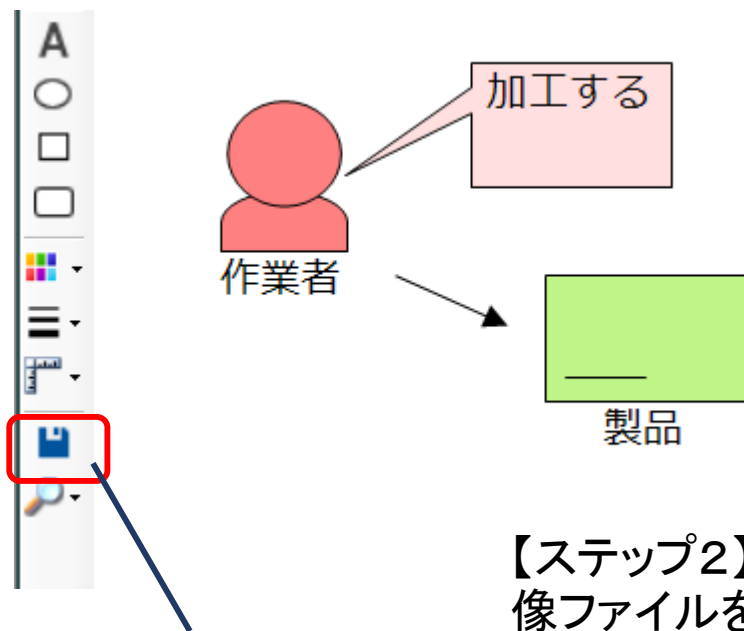


【ステップ2】吹き出し元となる図形をコントロールキーを押しながら右クリック（右ボタンで選択）します。



【ステップ3】メニューから「接続する」を選択します。

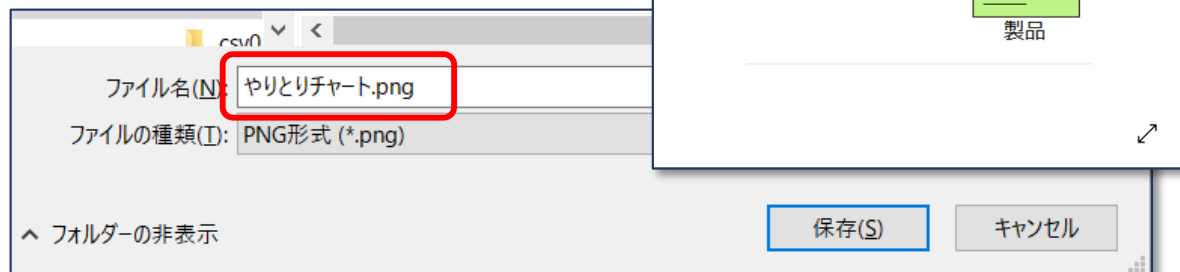
チャートを他の資料で利用するには・・・



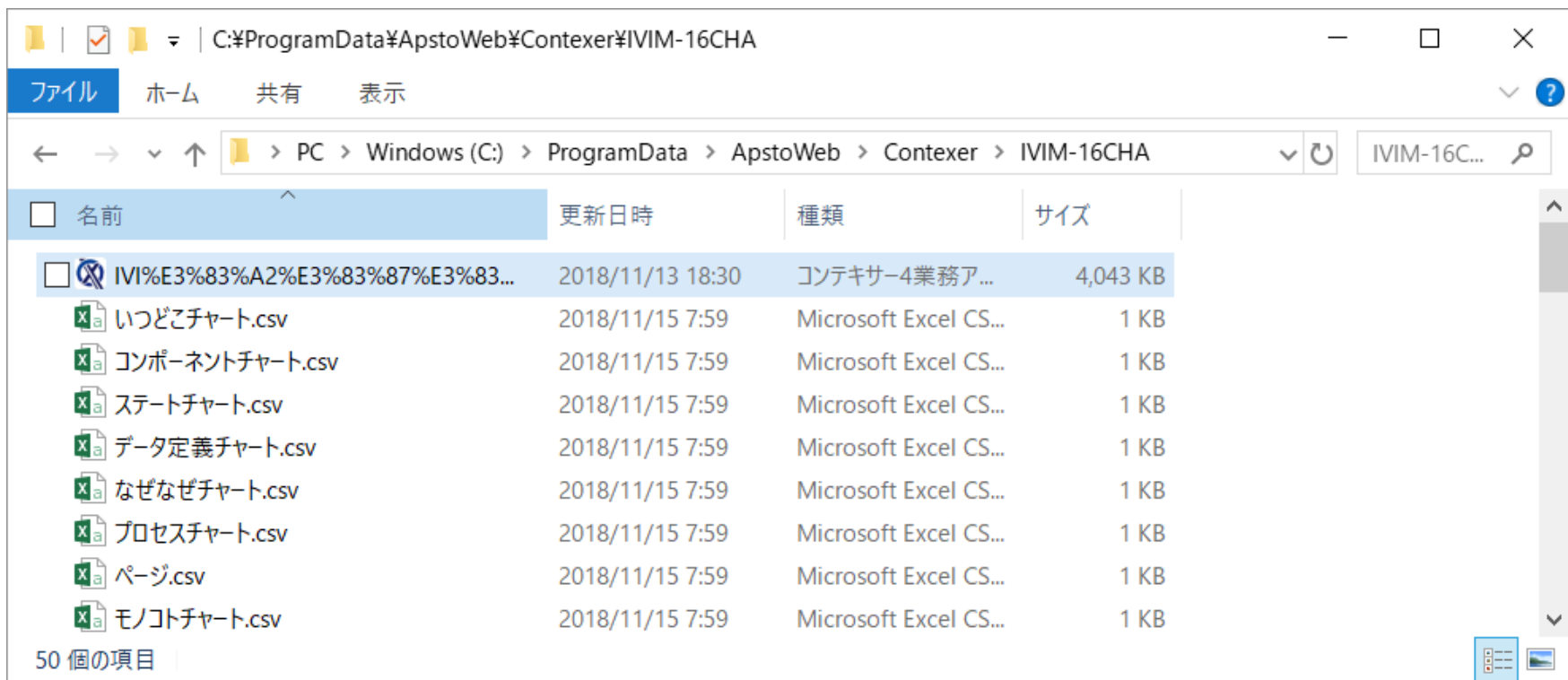
【ステップ1】 図形描画ツールから「図形を画像として保存」を選択します。

【ステップ3】チャートに描画された内容は、図形ファイルとして、他のワープロやプレゼンテーションに張り付けて利用できます。

【ステップ2】名前をつけて画像ファイルを保存します。



定義内容を他のPCに移動させるに・・・



フリー版の場合は、保存されたCSVファイルは
 ¥ProgramData¥ApstoWeb¥Contexer¥IVIM-16CHA フォルダに格納されています。この
 内容を他のPCに移動することでデータ移管が可能となります。なお、データの部分的
 な分割、統合はできません。

